

福井市公正入札調査等委員会の開催概要について

このことについて、令和元年度福井市公正入札調査等委員会（第１回）を開催しましたので、その概要をお知らせします。

記

１ 日 時 令和元年 6 月 1 0 日（月） 13：30～14：55

２ 場 所 福井市役所 第 3 委員会室

３ 出席委員 委員 5 名

４ 議事次第

（１）開会

（２）議題

・入札及び契約手続きの運用状況の報告

・抽出事案審議

（３）その他

（４）閉会

５ 会議概要

（１）入札及び契約手続きの運用状況の報告（平成 30 年 12 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日）

・契約件数、請負率の状況について説明(契約課、経営管理課)

（２）抽出事案審議

ア 審議事案 1

H30 工番 125 号污水管布設工事（条件付一般競争入札）

Ｑ 最低制限価格未満の失格が多いが、この工事のように失格者が多い工事と少ない工事の差はどのようなところから出るのか。

Ａ 最低制限価格は、設計額の 88％～90％の間でコンピュータがランダムに設定する。最低制限価格が低い率で設定されると失格者が少なく、高い率で設定されると失格者が多くなる。

イ 審議事案 2

越前水仙の里公園 ナルシスプラザ改修工事（条件付一般競争入札）

Ｑ 資格条件該当業者が 97 者もあって、資格確認申請者が 4 者しかなかったのはなぜか。

Ａ 現場が遠いことにより材料の運搬費がかかり、かつ冬期間の工事であるため雪が降る可能性もある。運搬費用と工期の日数を考えて 4 者になったと思われる。

Ｑ 資格要件の業者の登録住所の範囲が広いが、応札が少ない工事であることを想定して拡大したのか。

A 1 回目の入札が中止になったため、設計額の見直しを行った。今回 2 回目の入札では業者の範囲を広げ、内装工事を変更し、業者が負担になる工程を省いて発注した。

ウ 審議事案 3

防安№1-4 道路舗装工事（指名競争入札）

Q 最低制限価格を下回った業者が多く、1 者だけ高く応札した業者が落札しているが、このような状況について、どのような認識をしているのか。

A 入札に際して必ず積算した内訳書をつけてもらっている。最低制限価格をランダムで設定しているため、制度上起こり得る事である。

Q 現場近くの業者か遠くの業者かによって、燃料費等の運搬にかかる費用が変わると思うが、そのような点で内訳書を見ることはあるのか。

A 業者がどの地区であるかによって、積算が違ってくるのか検証していない。

エ 審議事案 4

クリーンセンター 2 号、3 号ボイラー側壁管取替工事（随意契約）

Q ボイラーとは、施工業者が一旦置いたら、その関連会社しかメンテナンスできないのか。

A クリーンセンターは、メーカー独自の技術に基づき、多種多様の設備・機器が総合的に集中制御されているプラントである。プラントを構成する機器の修繕を行うには既存の設備に精通した業者に請負わせる必要がある。そのため、ボイラーを手掛けたプラントメーカー、又はプラントメーカーの設備を専門的にメンテナンスを行う会社と随意契約している。

オ 審議事案 5

企施 9 真栗浄水場機能増設（電気・機械）工事（条件付一般競争入札）

Q この工事を施工するメリットは何か。

A 平成 25 年に厚生労働省が出した水道ビジョンで安全・強靱・持続と言っているように、地震などの災害があっても水を出せる災害に強い水道を作ること。また、人口減少や水需要の低迷の中で、高度成長期に作られた古い施設をこれからの使用水量等を考えて統廃合していくこと。

(3) その他

管工事における入札状況の報告

管工事の入札について、高止まりの状況は変わっていない。今後も引き続き調査する。